

第 14 回千葉産婦人科内視鏡手術研究会プログラム

- ・ 会期：2026 年 3 月 20 日（金） 14:00～18:25
- ・ 会場：ペリエホール
千葉市中央区新千葉一丁目 1 番 1 号 ペリエ千葉 7 階
TEL：043-445-8300
- ・ 共催：千葉産婦人科内視鏡手術研究会、コヴィディエンジャパン株式会社
- ・ 参加費：2,000 円

・ 日本専門医機構の学術集会参加 2 単位、特別講演の聴講で産婦人科領域講習 1 単位を発行致します。**JSOG 会員証をご持参ください。**

- ・ 日本産婦人科医会研修参加証（医会シール）を発行致します。
- ・ 日本医師会生涯教育講座単位：1 単位（CC15：臨床問題解決のプロセス）
- ・ 本研究会は一般社団法人 日本産婦人科内視鏡学会の認定を受けています。

※日本産科婦人科内視鏡学会技術認定制度における取扱いは以下のようになります。

1. 新規申請：学会発表のカウント対象になります。（プログラム・抄録集の写しが必要）
2. 更新申請：学会参加（1 ポイント）に計上可能です。（参加証明書が必要）

学会発表（1 ポイント）に計上可能です。（プログラム・抄録集の写しが必要）

- ・ 研究会参加費 ¥2,000 は、千葉産婦人科内視鏡手術研究会の年会費を兼ねます。

演者の先生方へ

- ・ 発表の手前になりましたら左前“次演者席”にお着き下さい。
- ・ 発表方法について

- 1) ノートパソコン持参（Windows、Mac など）

御自身のパソコンをお持ち込み下さい。プロジェクターは HDMI 対応となります。

Mac の方は HDMI 変換アダプターもお持ち下さい。

パソコンの電源ケーブルを御持参下さい。

- 2) 発表データ持参の場合

USB 又はハードディスクでお持ち込み頂く事が可能です。

アプリケーションは Windows Power point となります。参加受付時に発表データをご提示下さい。

*音声出力は可能です。

*PC 受付はございませんので、ご不安な方はお早めに会場内のプロジェクターにて試写、動作確認をお願いします。

- 3) 発表時間は 6 分、討論 1 分です。

座長の先生方へ

担当されるセッション開始 5 分前までに次座長席にお着き下さい。

代表世話人からのご挨拶

千葉大学大学院医学研究院産婦人科学 教授
甲賀かをり

第14回千葉産婦人科内視鏡手術研究会の抄録集をお届けします。今回のテーマは「トラブルから学ぼう！」です。失敗を隠さず、共有し、皆で学ぼう！という市川雅男先生らしい明るく前向きなテーマに、23題もの演題を応募いただきました。まずは市川先生をはじめ、日本医科大学千葉北総病院の先生方、ならびにご応募くださいました演者の先生に深謝申し上げます。また本会に協賛頂いておりますコヴィディエンジャパンにお礼申し上げます。

今回のプログラムは、症例報告(Session I・III)に加え、ロボット支援下手術(Session II)、検討・取り組み(Session IV)という構成です。臨床現場の悩みや創意工夫が持ち寄られ、抄録を読んでいるだけでもドキドキしてしまうような、魅力的な演題ばかりです。特別講演では、亀田総合病院 泌尿器科の安倍弘和先生に「トラブルから学ぼう！尿管損傷、膀胱損傷のその後」と題してご講演を賜ります。婦人科医なら誰もが痛い思いをしている尿路系合併症について、婦人科医なら誰もが頭の上がない泌尿器科の先生に、トラブル発生の機序だけでなく、その後の患者さんの予後も含めて、専門家の視点から貴重なインサイトを頂けるものと期待しています。

稀なトラブルや合併症は、誰もが何処かで突然遭遇し得るものです。「何かが変だ」と気づく力、そして何か起きてもの確にリカバリーするトラブルシューティング能力は、一朝一夕に身につくものではありません。多くの症例報告や他者の経験談を頭の片隅の引き出しにしまっておき、いざという時に、その知識をひっぱり出して来られるかどうかで、その患者さんを救えるかどうかが決まります。

今回の演題が、参加者の皆様が将来遭遇する症例に少しでもお役に立ち、安全で質の高い内視鏡手術を千葉の患者さんへ届けるための力となることを心から祈念しております。会場ではぜひ、忖度抜きの率直で前向きな議論が交わされることを期待しております。

第 14 回千葉産婦人科内視鏡手術研究会開催にあたって

第 14 回千葉産婦人科内視鏡手術研究会・当番世話人
日本医科大学千葉北総病院 女性診療科・産科 准教授・部長
市川雅男

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第 14 回千葉産婦人科内視鏡手術研究会の当番世話人を務めさせていただくこととなりました。歴代世話人の先生方が築いてこられた本研究会の伝統を受け継ぎ、千葉県における産婦人科内視鏡手術のさらなる発展と、会員相互の実践的な研鑽の場となるよう、鋭意準備を進めております。

今回のテーマは「トラブルから学ぼう！」です。

内視鏡手術やロボット支援下手術が広く普及し、その技術は日進月歩で進化しております。しかし、どれほど技術が洗練されても、予期せぬ事態や合併症の可能性を完全に排除することはできません。むしろ、難易度の高い症例に挑戦する機会が増える今だからこそ、トラブルへの向き合い方が問われています。

トラブルは決して隠すべきものではなく、共有すべき貴重な経験です。なぜ起きたのか、どう対応したのか、そして次にどう活かすのか。率直な振り返りと建設的な議論こそが、安全性と質の向上につながると確信しております。本研究会が、そのための開かれた学びの場となることを願っております。

今回の一般演題は、過去最多となる 23 題のご応募をいただきました。多くの先生方にご関心をお寄せいただいたことは、本研究会の意義と、テーマへの強い共感の現れであると感じております。内視鏡手術、ロボット支援下手術、新規デバイス、困難症例への対応など、多岐にわたる内容が予定されており、活発な討論が期待されます。

また、特別講演として亀田総合病院 泌尿器科 安倍弘和先生より「トラブルから学ぼう！尿管損傷、膀胱損傷のその後」と題してご講演を賜ります。婦人科内視鏡手術において常に念頭に置くべき尿路合併症について、発生後の対応や長期的視点を含めた貴重なお話を拝聴できることを大変楽しみにしております。

本研究会が、明日の手術に直結する具体的な学びと気づきを持ち帰る機会となり、千葉県全体の内視鏡手術の質と安全性をさらに高める契機となることを願っております。

末筆ではございますが、本研究会の開催にあたりご支援ご協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

第 14 回千葉産婦人科内視鏡手術研究会プログラム

14:00～14:05 開会挨拶

日本医科大学千葉北総病院 市川雅男

14:05～14:45 Session I 症例報告 I

座長 東京慈恵会医科大学附属柏病院 高野浩邦

東京ベイ・浦安市川医療センター 本田能久

1. 子宮鏡下手術の前処置である吸湿性頸管拡張材の挿入困難でミソプロストール内服が有効であった 1 例

東邦大学医療センター佐倉病院 産婦人科 弓立大

2. 円錐切除後に腹腔鏡下子宮全摘術の予定であったが円蓋が不明瞭であったため膈上部切断術となった一例

総合病院 国保旭中央病院 産婦人科 小川美咲

3. 腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に生じた異所性筋腫が捻転した一例

千葉メディカルセンター 竹原直希

4. 自然脱落と判断されていたレボノルゲストレル放出子宮内システムが腹腔内迷入しており腹腔鏡下で摘出した一例

国際医療福祉大学成田病院 産科婦人科 佐藤史香

5. 腹腔鏡下子宮全摘術後に発症した膈子宮内膜症の一例

千葉大学医学部附属病院 産科・婦人科 百武沙綾

14:45～15:35 Session II ロボット支援下手術

座長 東邦大学医療センター佐倉病院 高島明子

千葉大学大学院医学研究院 石川 博士

6. ‘直ロボ世代’ 教育におけるリガシユア®を用いた hybrid RASH の有用性

国立がん研究センター東病院 婦人科 伊東史学

7. 手術操作の連続性に着目した手技評価方法の検討 —da Vinci システムの操作ログ解析—

帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科 足立克之

8. 当院における早期子宮体癌に対するロボット支援下手術と腹腔鏡下手術の比較検討

順天堂大学医学部附属浦安病院 石井純麗

9. da Vinci Xを用いた腔断端連続縫合の工夫：粘膜適合を得るための標準手技

帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科 岸本叡人

10. 婦人科ロボット支援下手術におけるスマートリトラクター／フリーアクセス®を用いた経腹的検体回収の工夫

順天堂大学医学部附属浦安病院 大塚早織

11. 当院の大型子宮筋腫に対するロボット支援子宮全摘術での課題

亀田総合病院 産婦人科 三谷尚弘

15:35～16:15 SessionIII 症例報告II

座長 順天堂大学医学部附属浦安病院 氏平 崇文

亀田メディカルセンター 三谷 尚弘

12. 排卵周期胚移植後に卵巣茎捻転を発症した妊娠初期症例

つくば木場公園クリニック 吉岡伸人

13. 腹腔鏡下子宮全摘術後の遅発性腔断端出血に対して経カテーテル動脈塞栓術が奏功した1例

東京慈恵会医科大学附属柏病院 産婦人科学講座 道下夏帆

14. 子宮全摘術後の腔断端脱に対して腹腔鏡下仙骨腔固定術が有効であった1例

独立行政法人千葉医療センター 増田ゆうき

15. 腹腔鏡下子宮全摘術において基靭帯血管との誤認が招いた尿管損傷の1例

東京慈恵会医科大学附属柏病院 産婦人科 松浦美紀

16. 腹腔鏡下子宮全摘術時のエネルギーデバイスによる遅発性尿管損傷の一例

成田赤十字病院 産婦人科 根本陽奈

16:15～17:11 SessionIV 検討・取り組み

座長 国際医療福祉大学成田病院 進伸幸

帝京大学ちば総合医療センター 足立 克之

17. ロボット支援下子宮全摘におけるアシストポート小径化と省略の工夫：低侵襲化と各種対応への課題

帝京大学ちば総合医療センター 福地清康

18. 下腿コンパートメント症候群を経験して～減張切開での対応と今後の対策～

亀田総合病院 産婦人科 鶴飼亜里沙

19. 腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)の短期入院化の取り組み

鎌ヶ谷バースクリニック低侵襲手術センター 草西多香子

20. オープン法による第一トロッカー挿入を安全に行うための工夫：Step By Step法の検討

東京慈恵会医科大学附属柏病院 産婦人科学講座 杉田龍光

21. 足台から朝礼台へ～エルゴノミクスに適う手術環境を再考する～

共立習志野台病院 産婦人科 橋本亮平

22. 全腹腔鏡下子宮全摘術における尿管損傷の pitfall

東京ベイ・浦安市川医療センター 産婦人科 春日みさき

23. 腸管子宮内膜症における当院での取り組みと合併症

日本医科大学千葉北総病院 女性診療科・産科 常松幸平

17:11～17:21 メーカープレゼンテーション

コヴィディエン ジャパン株式会社

17:21～17:25 休憩 4分

17:25～18:25 特別講演

座長 日本医科大学千葉北総病院 市川雅男

「トラブルから学ぼう！尿管損傷、膀胱損傷のその後」

演者 亀田総合病院 泌尿器科 安倍弘和

18:25 閉会挨拶

千葉大学大学院医学研究院 産婦人科学 教授 甲賀かをり